

在宅取組型(幼保園)

学校名等	大垣市立三城幼保園
実施日時	令和2年11月30日(月)~1月10日(日)
会場	各家庭
参加人数	全園児206名と保護者
学習課題(分野)	「親子ふれあい週間 ~あいさつ・親子遊び~」(基本的な生活習慣・家族の大切さ)
運営者の願い	家庭内であいさつを交わすことができるようになると、幼保園内でも自然とあいさつができるようになり、一日の気持ちの良いスタートと、家庭内、園内で温かい雰囲気を作ることができる。 現代、テレビゲームや携帯ゲームなどがいつでも簡単にできる中、家庭内において親子で一緒に遊ぶ時間が減っているのではないかと感じています。そこで親子遊び週間を設定し、ふれあうことの大切さを実感してほしい。

学習の内容

<あいさつ&親子遊び週間>

- ・11月に案内文と、取り組みカードとシールを配布した。
- ・「あいさつ週間」は、11月30日~12月6日で、人権週間に合わせて行った。
- ・「親子遊び週間」は、11月30日~1月10日までの期間のうち、親子で相談して取り組む期間を決めて、一週間行った。
- ・「あいさつと親子遊び」ができれば、カードのイラストに親子でシールを貼った。
- ・取組終了後、保護者の方にご褒美シールを貼ってもらい、取組の感想や子供へのメッセージを記入して提出してもらった。
- ・3歳未満児は、「親子遊び週間」のみ行った。



<保護者の感想>

- ・家族だけでなく、近所に住む方々にも自分からあいさつができるようになった。
- ・あいさつだけでなく、お礼も言えるようになった。自分で考えて適切なあいさつができてすごいと思う。
- ・意識してコミュニケーションの時間をとると、今まで子供との時間をなかなかつづけていなかったと思い、とても良い一週間になった。
- ・くすぐり遊びをすると大笑いして、笑顔いっぱい時間が過ごせた。
- ・普段できない遊びを家族で楽しめて、とても良かった。
- ・いつもより、家族でふれあう時間が増えて良かった。



親子のふれあいの時間の大切さを実感

◎ 仕事や家事などで多忙なご家庭が増える中、親子遊び週間を年末年始を中心に組み込んでいただくことによって、時間にも心にもゆとりをもって接することができ、親子のふれあいの大切さを実感できるよい機会になった。



父親の参加・成長の実感

◎ 親子遊びでは、体を使った遊びなど、お父さんの参加も多く見られました。また遊びを通して、「こんなこともできるようになった」と子供の成長を感じることで、できるきっかけにもなれて、よかったです。